

荒井賢治の世界

『限界集落』

再び

写真集の表紙



佐那河内村役場(村民ホール)——

令和7年 5/13^火・27^火

■ 午前9時～午後5時 ※土・日も開館

佐那河内村出身の写真家荒井賢治さんは、亡くなられる平成23(2011)年に写真集『限界集落 ふる里に抱かれて』(徳島新聞社)を出版されました。そのあとがきで、「僕の写真にはすべて生まれ育ったふる里の記憶が息づいている。」と記し、「僕のふる里、佐那河内村は徳島県に残された唯一の村になった」ことが自慢の一つになっていると述べています。

その翌24年に、村内で、写真展「限界集落 ふる里に抱かれて」が開催されました。それから10年余りの歳月が過ぎ去り、荒井賢治さんがカメラに収めた山間部の村々の風景も大きく移り変わりました。荒井作品を通して、村が生んだ先人の軌跡の一端をたどるとともに、山の村々のあり様を考えていく機会にいただければ幸いです。

今回は、徳島県立文書館が所蔵する写真パネルを借用して展示をします。



GALLERY TALK

令和7年 5/18^日 ■ 午後1時30分～ ギャラリートーク / 荒井由子さん



■お問い合わせ

佐那河内村企画政策課

〒771-4195 徳島県名東郡佐那河内村下字西ノハナ31番地

TEL:088-679-2973 FAX:088-679-2125



<https://www.vill.sanagochi.lg.jp>